中間レポート課題「東京の都市像における○○○の役割」への学生コメント

１）5/30 発表分

■07M45151 住宅政策の役割

・住宅政策の流れが分かって良かったが、アグレッシブな提案をして欲しかった。

・ 近年、民間の誘導による良質な住宅などが求められているが、もともと条件の悪い物件は住宅困窮者のような方が住んでおり、もし良質な住宅があった場合にそれは何れも富裕層･中流階級向けになるので結局大きな解決策となっていないのではないだろうか。故に、ハードの政策ではなく（時にはコスト面)、支援サポートがあっても良いのでは？ソフトの政策も必要と発表されていたが、このコスト面は結構難しいと聞きます。

・ ソフトから創るという考え方は面白かったが、具体的にどのような方向に行くのか見えなかった。また文化政策と結びつけた時に、それが一時的な空間になりえるのではないかと危惧した。

■07M17232 記号の役割

・ 東京には記号が溢れているが、東京へ訪れる人にとっては東京のイメージを形成しているので取捨選択の必要はあるだろう。

・ 建築自体が商業的な意味合いを強く帯びていく中で、建築単体は東京という大きな広がりの中に位置づけられていくように思える。つまり地域レベルでのまとまりを超越して行くように思えるが、そうなっていくと都市像というのが具体的にどう形成されていくのか疑問に思った。

・ 慣れた場所を通るときは存在も忘れている「記号」。頼りにした瞬間洪水のように押し寄せてくる「記号」。田舎では目的も情報も限られているため、あまり見かけない記号。都会では目的も情報もあふれ返り、記号もあふれ返る。そんなあたり前のことをあらためて発表で聞き、何故、何が、どのようにかうまく説明できないが、ハッとするような思いがした。

■06M17200 大規模商業施設のネットワークの役割

・全体の都市についても触れるが、建築の一つの性質について論じる傾向にあった。ネットワークといえどもそれについての深い論がなかった。

・ 発表者は、モータリゼーションや歩行者社会といった通時的な普遍性を持った都市の属性に着目して論を展開し、教員のコメントは都市計画や建築のトレンドが与える影響に重きを置いたものだったと思います。これについて、この二つの視点同士の関係はどのようなものなのかと疑問に感じました。時代のトレンドは、土地や社会固有の属性の枠の中だけ

で動いているのか、それの枠を越えているのかだったり、逆にそもそも長いスパンで固有の都市の普遍性などそもそも存在するのか、といった事を考えさせられました。

・ 都市や商業施設において、密度とその土地に栄える交通手段という視点からその作られ方を分析する話が面白く感じました。日本では鉄道が都心における主な交通手段になっているため、繁華街は駅を中心に円上に広がっています。それに対し、トラムが盛んなヨーロッパの都市ではトラムの路線に沿って繁華街は線上に展開しています。
日本の都市においても地方都市では繁華街は必ずしも駅を中心にしているとは限りません。車社会という意味では日本の地方都市とアメリカの都市において共通点を見いだせるかもしれません。密度と交通手段というキーワードからまだまだ考察できることがあるのではないかと感じました。

・ 歩行者ネットワークは考えられていないのではないか？建設時にはネットワークというものを考えていたとは思われない。空中デッキや地下道でつながっているのは事業主体が同じもの同士のみでは？
商業施設の立地が歩行者の動線を変化させると共に、歩行者の動線によって商業施設の立地が検討される。→相互作用・トランザクションな関係

・ アメリカ、ヨーロッパ、アジアでは交通システムが異なり、それによって形成される街路空間にも違いが出るとの主張には納得させられました。日本では戦後、及び震災後に計画的ではなく形成された地域もあるので、今回登場した欧米の都市が計画的に形成されたのか、あるいは非計画的に形成されたのかにも興味を持ちました。

・ ヨーロッパ、アメリカ、日本（東京）の都市の違いを述べていたが、それはマスタープランのようなものを含めた都市形成過程の違いであり、日本はその意味では場当たり的であったと考えられる。商業空間のでき方も、用途地域などの規制があるものの建築物それ自体のでき方はやはり場当たり的である。以上のように考えると、この発表で述べられていたコネクションは東京の都市像を象徴するものであると共感できた。

■ 08M43296 地域の役割

・地域の捉え方は正しいか　くくり出し→外部の要因→地域の概念化
区画によって指定された地域だけではないのでは。

・ 地域というものを考える時には「地名」がキーワードになってくると思います。地名にはその地域の履歴が内包されている場合が多いと思います。

・ 市街化する前の地域のつながりと、その後の区割りでは何が違うのか？そのズレで都市空間の変化が起こっているのなら面白いのではないか。

・ 地域の捉え方が論理的だった。内部の必要性に依存する単位としての「地域」は物理的でも人為的でもなく、本当の意味での境界線となり得る領域なのだろうと感じた。

・ 地域計画における「地域」を捉える例として組織を挙げるのは違うと思った。ある程度住

民が固定化されているなら分かるが、東京は人口の流出入が激しいため組織の構成員が長期間固定化することは少なく、地域計画をそのような短期間のスパンで入れ替わる対象に行うのは相応しくない。

■07M53015 駅の役割

・ 収益優先から垂直に拡がるようになってきた都市領域に対しての批判であったが、それと地域住民との関係性は直接ではない気がした。
・ 駅にはトリッキーな複合の仕方など空間的なおもしろさがあるので、そうしたところにもっと踏み込んでほしかった。

■ 07M17321 住宅の役割

・ 資料作品数は少なく感じたが、「タワー」というキーワードだけでとても面白い視点が得られた。
・ 住宅の形の変化の中で公共空間に与える影響などが都市像を形成していくと思うので、そのような視点があると良いと思った。住宅の形態の変化に他の視点を加えると発展性があるのでは。

■ 08M30253 緑地政策の役割

・ 公園という空地が、防空法や農地改革など、様々な流れがあってあれだけの空地が残っているのだという背景が面白かった。確かに密度のある都心であれだけの空地が確保できている事は、不思議な事であると思いました。

■ 07M17255 都市形態の変遷の役割

・ 東京のような、建築が短い周期で建て替わる都市では、その建て替わりのリズムのようなものが場所の固有性を作り出していると言えないだろうかと感じた。
・ 領域の変化ごとに分類でき、その変化の仕方が街のイメージを作るということだが、計画する人（デベロッパー）の意向で街のイメージが決定されてしまうことがあるというのは危険だと思った。その上部計画を作る組織が管理していかないとバラバラになってしまうと思う。

■08M43209 中央線の役割

・ 確かに歴史的背景ということから、文化として考えるべきことも多いと思いますが、沿線住民の立場から言うと「開かずの踏切」という問題が非常に大きく、とにかく利便性を最重要視して欲しいという意見があります。そのため、最近一部区間が高架化されたことは「時代、環境に合った新しい文化として発表の（３）の部分に入れて良いと思いました。

・ 近年、景観についての議論が盛んに行われているが、中央線の都心部での建設においても、景観保全が意識されていたということは意外だった。

■08M17293 広告の役割

・ 広告を自分の感性で分類し、分析していたのがすごかった。

■ 08M43072 オリンピックの役割

・ 大都市の大規模な整備はオリンピックのような大きなきっかけがないとできない。かつての整備も、関東大震災、太平洋戦争の復興などのきっかけがあったから進めることができた。オリンピックはそこまでのインパクトはないが、都市整備の名目になると思う。

■ 08M43110 緑化事業の役割

・ 海の森構想と明治神宮の新旧２つのプロジェクトにスポットを当てていたが、東京の都市は、大規模緑地が点在している点が面白いと思うのでその一部と捉えて考察した方が良かったと思う。